

# ヒルフェ通信(9月号)

❀ そっと寄り添いやさしくサポート ❀

「公益社団法人成年後見支援センターヒルフェ」は高齢者、精神障がい者、知的障がい者等の権利の擁護及び福祉の増進に寄与することを目的として、東京都行政書士会が設立した法人です。



## ◆東京家庭裁判所立川支部訪問報告

令和4年7月27日(水)に、山崎理事長、釘田副理事長とともに東京家庭裁判所立川支部後見係を訪問してまいりました。総括主任書記官と次席書記官の方に対応していただきました。例年のように後見人等候補者名簿を提出し、意見交換を行いました。予定の時間を超過し活発なやりとりがなされました。ヒルフェからは特に大島町訪問について詳しくお知らせしました。これについては書記官の関心が高かったと感じられました。書記官からは「多摩地区(山間部)での活動について」「ヒルフェ会員の東京会会員に占める割合」「法人後見の内容」「保険の現状」についてのご質問があり、家裁のヒルフェへの関心あるいは期待のありかが示されていたように思われます。これは今後の活動の参考になると考えられます。いずれについても丁寧にお答えしました。

(専務理事 東村次郎)

なお、7月12日(火)には、東京家庭裁判所(本庁)に、山崎理事長、雨谷副理事長、西村副理事長が訪問し、意見交換をしております。上記に加え、両庁にコロナ禍により中止となった特別研修につきましても、再度実施に向けてのご検討をお願いしてまいりました。



## ◆立川地区にて市民セミナーが開催されました

令和4年7月23日(土)立川市総合福祉センターにおきまして、立川市社会福祉協議会と共催で『『ぼけますから、よろしく願いします。』上映会と行政書士による無料相談会』が開催されました。第一部を上映会、第二部にヒルフェ立川地区リーダー平松会員によるミニセミナー、第三部に相談会というプログラムでした。



計画時は、コロナ禍の収束を見込みながらも、収容人数などに配慮して募集をかけたため、安全に実施することができました。映画は直接成年後見について触れるものではありませんでしたが、平松会員のご自身の体験も含めた制度説明に、皆さん熱心に耳を傾けておられました。相談会も、当初の予定を上回るご応募があり、会場設定でも社会福祉協議会にご尽力いただきました。特に今回のような映画の上映を含むような、ヒルフェ単独では難しいセミナーを、社会福祉協議会のご理解・ご協力のもと、開催できたことに感謝しております。

社会福祉協議会をはじめとする関連諸機関との関係は、地区によって事情が異なるため難しい部分もありますが、それぞれにできる方法を探りながら地区セミナーを開催してまいりたいと思います。

(広報 高山久美子)

